

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	荇崎市円野町入戸野	地区名	(主) 荇崎南アルプス中央線 (入戸野拡幅)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	------	-----------	-----	------------------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景

(主) 荇崎南アルプス中央線は、荇崎市から南アルプス市を經由し中央市に至る幹線道路である。当路線は小学校の通学路となっているが、路肩が狭く歩道がないため自転車、歩行者の通行にも支障をきたしている。
また、当該区間は第2次緊急輸送道路に指定されているが、幅員狭小で大型車や緊急車両のすれ違いが困難な箇所となっているため、早期の整備が必要である。

②整備目標・効果

- 主要目標 ○歩行者等の安全性の確保
- 歩行者・自転車交通量 24人台 (H27センサス) <93人台/12h(平日)以上※
 - 自動車交通量 2,102台/12h (H27センサス) <3,428台/12h(平日)以上※
 - 通学路指定 指定あり※
 - 現況の歩道幅員 0m< 1.4m未満※ ※評価基準値
- 副次目標 ○災害に強い道路の確保
- 危険度(橋梁等): 「耐震補強済」
 損傷度等(橋梁等): 対策区分C
 緊急輸送道路の指定: 指定あり(第2次緊急輸送道路)
 自動車交通量: 2,102台/12h (H27センサス) <3,428台/12h以上 ※
 ※評価基準値
- 副次効果 ○バリアフリー化の促進
- (車椅子で通行可能な幅員の確保、段差・勾配の改善)
 - 緊急時の避難・救助機能の確保 (第2次緊急輸送道路の整備)

(2) 整備内容

- ①整備内容 道路改良 L=680m W=6.0(10.5)m
- ②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和12年度
- ④総事業費 約700百万円 (国費385百万円(5.5/10)県費315百万円(4.5/10))
- ⑤年度別の整備内容 (事業費)
- | | | |
|----------|--------|---------|
| 令和5年度 | 詳細設計 | 40 百万円 |
| 令和6年度 | 用地測量調査 | 20 百万円 |
| 令和6~7年度 | 用地買収 | 90 百万円 |
| 令和8~12年度 | 道路改良工事 | 550 百万円 |

※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。

- ⑥既整備内容・期間・事業費
なし

(3) 事業の妥当性評価

妥当 妥当でない

- ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない

・地域の重要な生活道路であるとともに、通学路に指定されており、歩道の整備を行うことで、社会的受益は大きく、公共性が高い。

- ②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当 妥当でない

・道路法第15条により県が行うべき事業である。

- ③経済妥当性 妥当 妥当でない

総事業費	700 百万円	工期	R5~R12	基準年	R4
経済効率性	費用	590 百万円	便益 1009 百万円		
	建設費	532 百万円	走行時間短縮	913 百万円	
	維持管理費	58 百万円	走行経費減少	57 百万円	
			交通事故減少	35 百万円	
			その他※	4 百万円	
B/C		1.7			

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益
費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。

- ④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない

・当該区間の起終点には歩道が整備されており、歩道の連続性を確保するために最も効果的な事業規模である。

- ⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない

・周辺への影響をなるべく小さくするとともに、経済性に優れた最も妥当な計画とした。

- ⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない

・景観に配慮した計画とする。

- ⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない

・荇崎市から早期整備の要望を受けており、地元より了解を得ている。

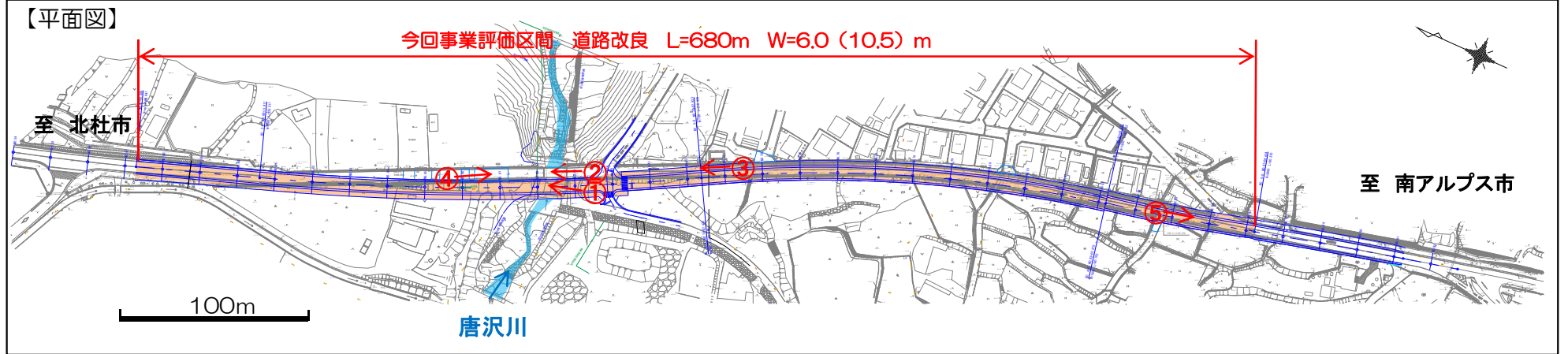
総合評価

[貢献度ランク: a]

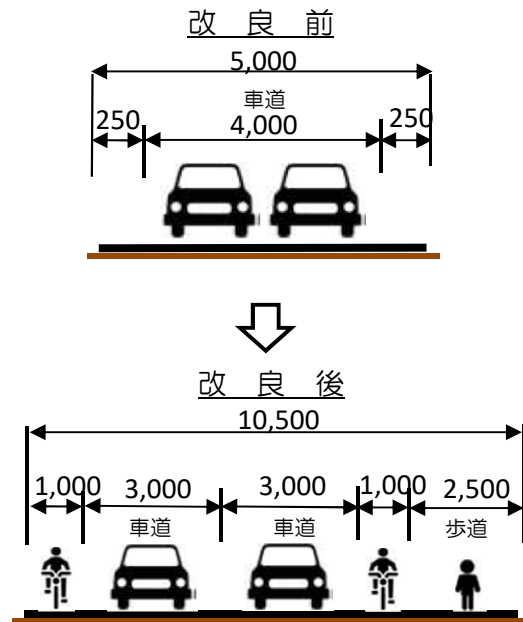
(4) 事業位置図等



2. 添付資料シート (1)



【標準横断図】

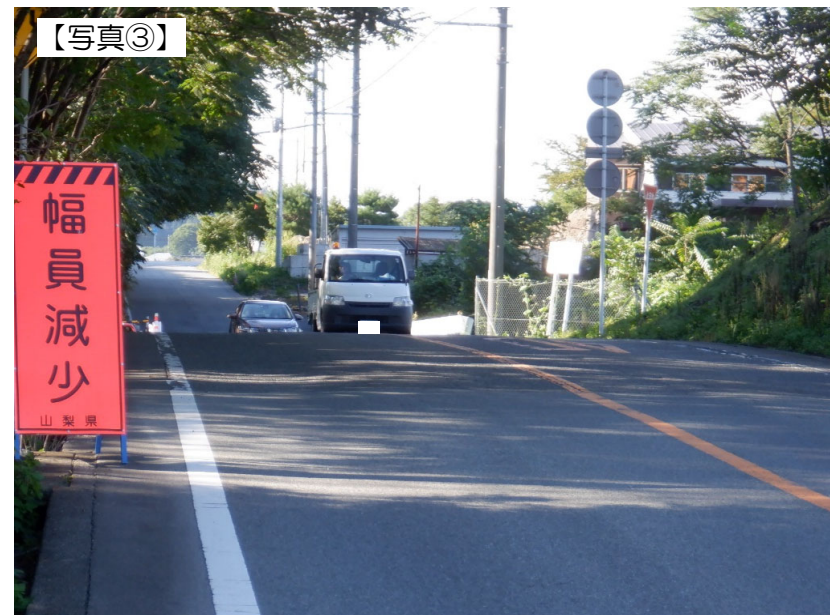


道路状況 (幅員が狭く、すれ違いが困難)

2. 添付資料シート (2)



道路状況（幅員が狭く、自動車のすれ違いが困難）



縦断線形が悪く見通しが悪い状況（終点側からは見通しが悪い）



センターラインが無く幅員が狭い状況



歩道が無く危険な状況